

## 興風会で行われていた様々な事業

### 野田少年職業紹介所開設

昭和8年2月、野田少年職業紹介所が開設され、当時の勤労少年のための職業紹介を始め、昭和13年国家によって職業紹介事業が運営されるまで続きました。世話した就職者は650名余りになりました。



【写真は、昭和7年の適正検査のもの】

### 小児健康相談

小児・妊産婦の健康相談や優良乳幼児の表彰の他、施療券の発行などの救済事業も行っていました。



【写真は、昭和7年小児健康相談のもの】

### 結婚式

戦後全国的に「新生活運動」が広がり冠婚葬祭の簡素化や合理化の推進が提唱されました。開館当初より興風会館の施設を利用した結婚式や披露宴は行われていましたが、当会の事業としては、昭和35年の結婚式が第1号となりました。昭和48年までに17組の夫妻が当館から誕生しました。



### 栄養料理講習会

下の写真は、昭和5年の栄養料理講習会です。実習指導に当たるため千葉市から来館した職員は、徹夜で準備したと記録に残っています。栄養改善の講習会の他、実習として「豚の信田巻」「栄養パン」づくりが4日間行われました。



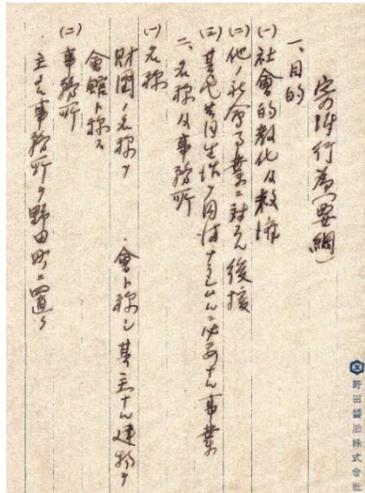
## 設立に関する最も古い文書

現在までに確認できる興風会設立に関する最も古い文書は、昭和3年の春ごろ作成されたと思われる「寄付行為（要綱）」と題された12枚の文書ですが、目的は

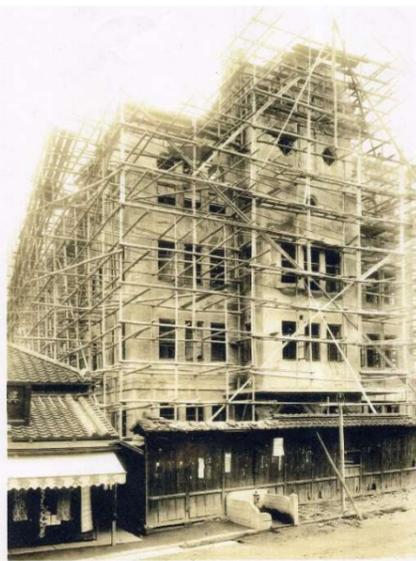
- (1) 社会的教化及救済
- (2) 他の社会事業に対する後援
- (3) その他共同生活を円滑ならしむるに必要な事業

となっています。まだ名称は空欄です。

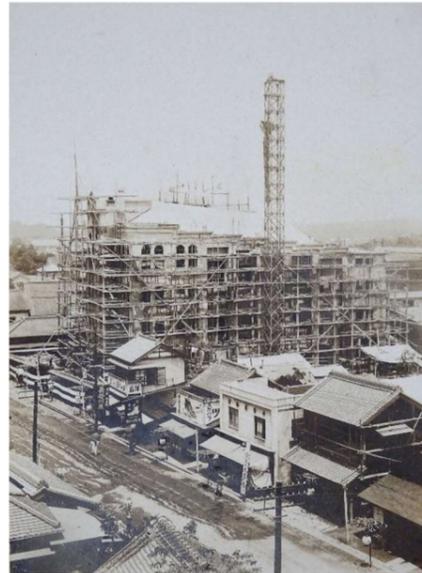
同年11月24日に確定した国への申請文書「財団設立願」に添付する寄付行為の中に、初めて「・・以テ(民)風ヲ(作)興シ」の言葉が見られます。



## 興風会館の建設



昭和4年4月、「財団法人興風会」が設立され、同10月19日に活動拠点である興風会館が竣工し、実質的に活動を開始しました。この建物は当時としては技術の粋を尽くしたもので、千葉県内では県庁舎に次ぐ規模の威容を誇るものでした。



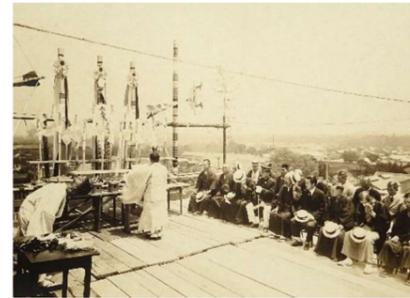
### 【設計者 大森茂】

大森茂氏は、神田駿河台にあった明治大学の旧校舎や記念館、豊島区目白台にあった旧細川侯爵邸（和敬塾本館）の設計者です。



大森設計事務所は、国会議事堂近くにありました。資料から、野田醤油のもろみ工場を設計した「日本の耐震建築の父」と言われた内藤多仲の仲間であった齋藤久孝が、自信をもって愛弟子大森茂を興風会に推薦したものと推察されます。

### 【建設は、戸田組（現戸田建設）】



昭和3年12月、大林、大倉、清水、戸田、竹中各社に対し仕様説明を行い、昭和4年1月12日指名競争入札の結果、施工業者は戸田組に決定しました。同1月16日地鎮祭が営まれ、同7月15日4階まで建ち上がった会館の屋上部分で上棟式が行われました。そして同10月19日、千葉県知事、町長、貴族院議員、県議会議員、さらに来賓、工事関係者など300人を招き、「興風会創立及会館落成披露式」を挙行了しました。

## 興風会館物語

～興風会の足跡をたどる～

公益財団法人興風会 発行  
令和5年5月初版

〒278-0037 千葉県野田市野田250番地

電話 04-7122-2191 FAX 04-7122-2192

URL <https://www.kouhoo1929.or.jp/>



公益財団法人興風会の90年の歴史を新発見の資料を多数掲載しながら野田の近現代に新たな1ページを綴る『興風会九十年史』発売中

※ 表紙の写真は、昭和初期の野田巴屋書店発行の絵葉書より

国の登録有形文化財(平成9年7月15日)  
近代化産業遺産(平成16年11月30日)

# 興風会館 物語

